

合併特例債を有効活用

合 併特例債は、こんな事業に活用できます

1 一体性を確立するための事業

2 均衡ある発展のための事業



産業・スポーツセンター
(132億 7,960万円)



一般廃棄物最終処分場、
リサイクルセンター
(75億 6,130万円)



中央学校給食センター
(13億 5,170万円)



市道上浜元町線
(10億 240万円)



地域防災情報通信システム
(同報系 15億 5,890万円)
(移動系 6億 2,500万円)



消防救急デジタル無線、
高機能消防指令センター
(10億 3,000万円)

3 公共的施設を統合整備するための事業



斎場いつくしみの杜
(21億 2,740万円)



津みどりの森子ども園
(4億 8,210万円)



市美杉庁舎
(2億 1,230万円)



元取公民館
(1億 530万円)



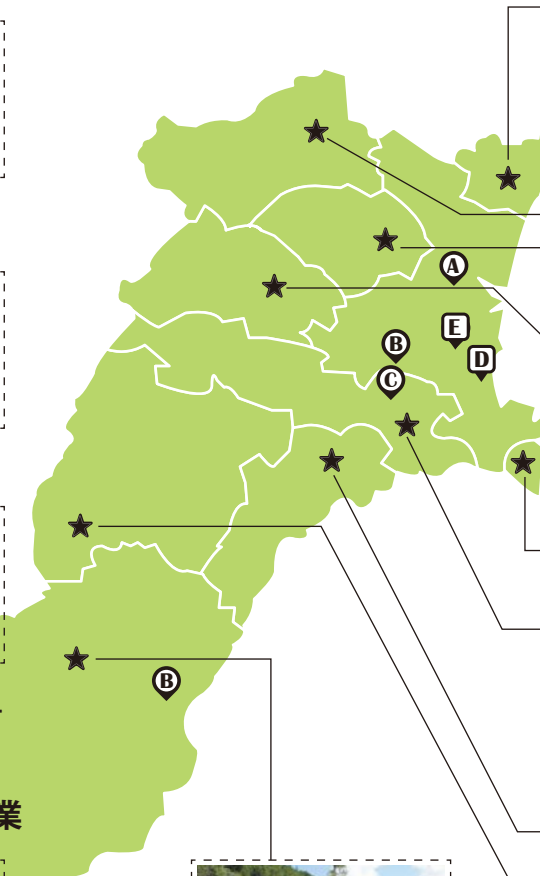
旧明村役場庁舎
(1億 30万円)



みさとの丘学園
(7億 1,640万円)



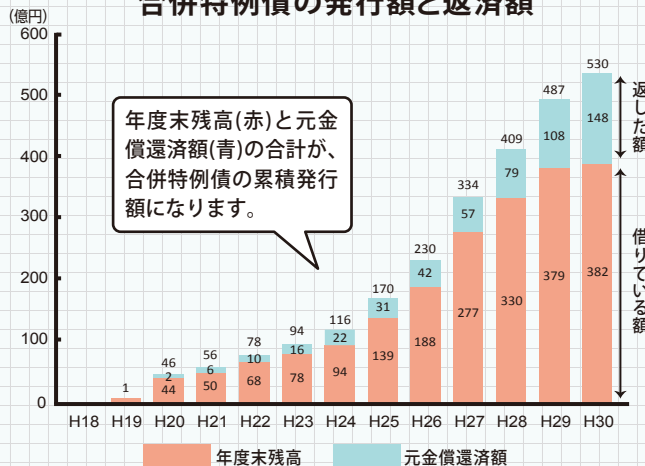
(仮称)津市久居ホール
(46億 3,480万円)



グラフで見る
津市の
借金



合併特例債の発行額と返済額



年度末残高(赤)と元金償還済額(青)の合計が、合併特例債の累積発行額になります。

平成26年度までは段階的に減少してきましたが、平成27年度以降は増加しています。しかし、その借入内容は交付税措置の大きい合併特例債であることから、これまでの市債よりも良い性質の借入となっています。

※臨時財政対策債とは…
地方の一般財源の不足に対処するため、特例的に認められている地方債で、その元利償還金については後年度において全額が交付税として交付されます。